



Radon Therapy

新ラドンセラピー

e-mail : info@radonmist.jp

URL : <http://www.radonmist.jp>

ラドンセラピーの開発によせて

ラドンセラピーは、自らガンに侵され治ることを信じて玉川温泉に通い続けた、60代のKさんとの出会いから開発されました。それはKさんの開発意志を引き継いで、自宅療養できるラドンセラピーの開発を約束した瞬間の笑顔から始まりました。その数日後、彼は奇しくもこの運命を予期していたかのように「一週間ほど検査入院してくる」との電話を最後に私に笑顔を残し旅立ったのです。体調不良を微塵も感じさせることなく、お会いしてわずか50日ほどの短い御縁でした。岩盤浴とミストを組み合わせたラドンセラピーの開発は大きな壁がありました。それは、ホルミシス効果を得るためのラドンを発生させることが出来ないことでした。そんなある日大阪の健康ランドから、ホルミシスルームの相談を受け、結果的にこの工事は実現には至らなかったものの、これを機に開発が大きく前進し、2010年ついにホルミシス効果になくはないラドンの発生に成功したのです。

開発製造販売元

伊藤建友株式会社

秋田県由利本荘市川口字八幡前255番地の4

●お問い合わせは

TEL 0184 (24) 3360 (代) FAX 0184 (24) 3413

天然ラドン発生ユニット



Radon Therapy

新ラドンセラピー





新ラドンセラピーの特徴

ホルミシス機能と美を追求したラドン温熱ユニット

ラドン温熱ユニット

ラドンセラピーは本来人間が持っている免疫力を高めるホルミシス効果の期待から、療養や健康増進をはかる設備として開発されました。開発においては、秋田の玉川温泉、オーストリアのガスタイナー・ハイルシュトレン治療坑道の環境をモデルに開発され、最もホルミシス効果が期待される「ラドン、温度、湿度の三つの環境」を取り入れた本格的なラドン温熱療養ユニットです。

日本でも玉川温泉や三朝温泉など、ホルミシス効果を目的にしたラドン浴ができる場所は限られており、ある程度の期間を継続して行う必要があるため、難病に悩まされながら症状改善を望む全ての人が、その地を訪れる事は難しいのが現実です。そこで誰もがもっと手軽に身近な場所で、しかも継続的にラドン浴を行う事を目的として開発されたのが、新ラドンセラピーで「天然鉱石からラドンが」出ております。

新ラドンセラピー性能

集客効果の期待業種

- ① 「ドア1枚から納入可能」
- ② 「ラドン濃度・温熱・湿度」三つの重要な環境
- ③ 「ラドンの岩盤発生型と装置発生型」の二種類
- ④ 「ラドン濃度は千～1万ベクレル」
- ⑤ 「岩盤温度37度～43度」
- ⑥ 「湿度は70%～100%」
- ⑦ 「岩盤線量2～20μSvマイクロシーベルト」
- ⑧ 「空気中0.3～0.8μSv」

- 「温泉・スパ」差別化対策
- 「ホテル、旅館」活性化対策
- 「福祉施設」入所者の症状改善
- 「医療施設」免疫機能の向上
- 「治療院」ラドン療法で差別化
- 「エステ・健康産業」など
- 「岩盤浴場」集客アップ
- 「ホルミシス館」の個人開業
- 「自宅療養」や健康増進



温泉・スパ



福祉施設



エステ・健康産業



医療施設



治療院

施工について

岩盤温熱浴ラドンセラピーはユニット型に開発され、浴室バスユニットと同じくドア一枚から搬入可能とした現地組み立てタイプで業務用もあります。また、弊社は1級建築士6名を含む10名の技術者集団ですので設計から施工まで、お客様のご要望に合わせた室内改修工事のホルミシスルームの施工も賜ります。



業務用ラドンセラピーユニット



6人用タイプ



ホルミシス効果の三つの環境



岩盤ラジウム線量の測定

ラドン
 濃度 (1000 ~ 10000 ベクレル)
 ラジウム線量 (2 ~ 20 マイクロシーベルト)

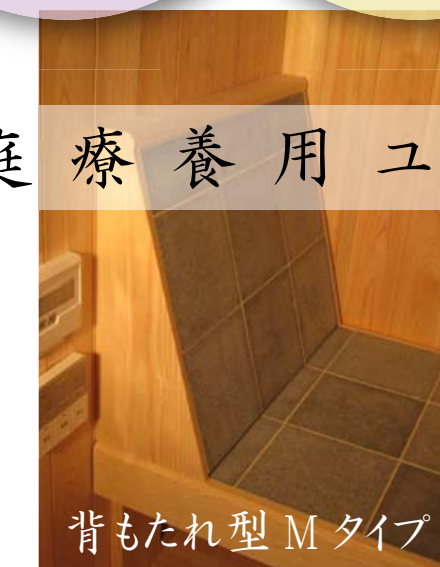


室内ラドン濃度の測定

新ラドンセラピー
温度 (37℃ ~ 43℃)
湿度 (70% ~ 100%)



椅子型 S タイプ



背もたれ型 M タイプ



ベット型 L タイプ

家庭療養用ユニット